

中井正一著作目録

新村 徹
平川 千宏



目 次

- はじめに
- | | |
|----------|---------------|
| I 全集・単行書 | II 論文・エッセイ等 |
| 1 全集 | 1 全集・単行書収録文献 |
| 2 単行書 | 2 全集・単行書未収録文献 |

はじめに

中井^{まさかず}正一(1900~1952)は、戦前・戦後にわたって、美学・哲学の分野で、先駆的な業績を遺した。同時に、アカデミズムの狭い殻にとじこもることなく、戦前は『世界文化』『土曜日』に拠って、反ファシズムの抵抗運動を組織した。戦後は、尾道市立図書館長として、いち早く地方の文化運動を推進し、1948年、国立国会図書館初代副館長に就任後は、創立期の館の基礎づくりに全力を投入した。同時に、日本図書館協会理事長として、図書館法の制定をはじめ、戦後日本図書館界の新たな出発のために大きく貢献した。

その多面的で豊かな理論と実践は、人間的な魅力と相まって多くの人をひきつけ、中井を研究し、あるいは追慕する人は今も後を絶たない。

一方、中井の著作は、4巻の全集と数冊の単行書にまとめられているが、網羅的ではなく、分りにくい点も多い。すなわち、全集・単行書の両方に収められているもの、全集のみに収められているもの、単行書のみに収められているものがあり、さらに両方に未収録のものもある(後出のように、それらは100点をこえる)。先行の書誌もあるが、必しも十分とはいえない。

現在の時点で、出来るだけ網羅的で正確な著作目録を編むことを思い立った所以である。

編さんに当っては、故・新村徹氏作成の「中井正一著作目録(略稿)」(1974.7)を

基礎にし、同氏との連名で発表させていただくことにした。

新村徹氏（中井正一・三女、香代子氏の夫君、中国文学者）は、一昨年（1984年）秋、不慮の事故に遭って亡くなられたが、生前『中井正一全集』編さんの過程で、上記の目録を作成しておられた。この目録は、手書きの、未公開のものであるが、現在までのところ、中井の著作目録としては最も詳しいものである。

この目録の成立ちについて、はしがきに当る部分で、新村氏は次のように述べている。

作製者が著作の原本あるいは複写に当たったものは約半数にすぎない。その余は、すべて既刊の全集・単行本、および「中井家現存著作件名表」、鈴木正氏作製「中井正一関係文献目録」（6訂）中の著作目録、平川千宏氏作製の「中井正一著作リスト」に依り、さらに富岡益五郎氏、和田洋一氏、橋本公平氏、平川氏、中井浩兄の御教示を受けたものである。

本編では、この目録を基礎として、その後に判明した文献約30点を加え、さらに全体にわたって能う限り原資料に当って正確さを期した。構成もご覧のような形に再編成した。

現在の時点で、最も網羅的で正確な著作目録になり得ていると思うが、なお、所在が分りながら原資料に当れなかったもの、所在や掲載誌自体が不明なものが若干残った（記載事項中「未詳」とあるもの等がそれである）。遺漏も、当然あると思う。お気づきの点があれば、ぜひご教示いただきたい。

本編が、中井正一研究を一層深める上で役立ち、あわせて若くして亡くなられた新村徹氏の遺志をいささかでも継ぐものとなれば幸いである。

おわりに、このような形で発表することを快く許されたご遺族・新村香代子氏、仲介の労をとって下さった中井浩氏、文献調査の上で種々ご協力いただいた宮城教育大学研究生・門田雄治氏、当館の稲村徹元氏をはじめ多くの方々に、深く感謝します。

（平川）

凡 例

全体を、I全集・単行書、II論文・エッセイ等に分けた。

I 全集・単行書

1全集、2単行書に分けた。

1 全集

配列は、全集の巻次順にした。記載事項は、書名、編者、出版社、出版年月、頁数、大きさ、〈国立国会図書館請求記号〉である。

2 単行書

配列は、出版年月順にした。ただし『美学的空間』のみは初版の箇所一括し

て配列した。記載事項は、書名、(叢書名)、編者、出版社、出版年月、頁数、大きさ、注記、〈請求記号〉である。

II 論文・エッセイ等

1 全集・単行書収録文献、2 全集・単行書未収録文献に分けた。

1 全集・単行書収録文献

配列は、文献の発行(原稿の場合は執筆)年月順にした。ただし連載物はその第1回の箇所一括して配列した。発行月が同じものは標題の五十音順にした。発行月が不明のものはその年の最後に配列し、発行年が不明のものは、全体の最後に配列した。

記載事項は、新聞・雑誌掲載のものは、標題、「掲載紙誌名」、巻号、発行年月(日)、掲載頁、注記であり、図書に掲載のものは、標題、『掲載図書名』、発行所、発行年月、掲載頁、注記である。

両者とも、末尾に、それが収録されている中井の全集、単行書名を以下のように省略して記載した。(複数の著者の文献を集めた編さん書に収録されているものもあるが、その記載は省いた)

(全1) ← 『中井正一全集 第1巻』

(全2) ← 『中井正一全集 第2巻』

(全3) ← 『中井正一全集 第3巻』

(全4) ← 『中井正一全集 第4巻』

(近) ← 『近代美の研究』

(美空) ← 『増補美学的空間』(1977、1982年版)

(美集) ← 『美と集団の論理』

(生) ← 『生きている空間』

(論) ← 『論理とその実践』

(ア) ← 『アフォーリズム』

2 全集・単行書未収録文献

配列は1と同じである。ただし、短歌・俳句、座談会は、最後に配列した。

記載事項も、中井の全集・単行書名を除いて、1と同じである。

I 全集・単行書

1 全集

中井正一全集 第1巻 哲学と美学の接点

久野収編 美術出版社 1981(昭56). 4 471p 19cm

〈K25—59〉

中井正一全集 第2巻 転換期の美学的課題

久野収編 美術出版社 1965(昭40). 1 389p 19cm

〈同前〉

中井正一全集 第3巻 現代芸術の空間

- 久野収編 美術出版社 1964(昭39). 8 354p 19cm <同前>
 中井正一全集 第4巻 文化と集団の論理
 久野収編 美術出版社 1981(昭56). 5 375p 19cm <同前>

2 単行書

近代美の研究

三一書房 1947(昭22). 6 151p 19cm <a 704-8>

美学入門 (市民文庫)

河出書房 1951(昭26). 7 154p 15cm 注：全集第3巻と朝日新聞社版『美学入門』に再録 <701.1-N339b>

図書館年鑑 1952

岡田温共編 図書館資料社 1951(昭26). 10 275p 19cm <010.59-To571N>

日本の美 (NHK教養大学)

日本放送協会編 宝文館 1952(昭27). 8 88p 18cm 注：全集第2巻と朝日新聞社版『美学入門』に再録 <704-N339n>

美学的空間 一機能と実存と組織の美学一 (現代芸術論叢書)

鈴木正編 弘文堂 1959(昭34). 11 348p 19cm <701.1-N339b2>

美学的空間 (叢書名著の復興 14)

鈴木正編 新泉社 1973(昭48). 4 355p 20cm 注：前書に論文『「壇」の解体』を加える <K25-22>

増補美学的空間 (叢書名著の復興 14)

鈴木正編 新泉社 1977(昭52). 11 411p 20cm 注：前書に「講座 芸術学」を加える <K25-44>

増補美学的空間 (叢書名著の復興 14)

鈴木正編 新泉社 1982(昭57). 4 414p 20cm <K25-66>

美と集団の論理

久野収編 中央公論社 1962(昭37). 12 300p 20cm <701.1-N339b3>

生きている空間 一主体的映画芸術論一

辻部政太郎編 てんびん社 1971(昭46). 12 233p 19cm <KD644-8>

論理とその実践 一組織論から図書館像へ一

中井浩編 てんびん社 1972(昭47). 11 312p 19cm <UL11-10>

アフォリズム

富岡益五郎編 てんびん社 1973(昭48). 11 241p 19cm <US41-511>

美学入門 (朝日選書)

朝日新聞社 1975(昭50). 2 229p 19cm 注：『美学入門』と『日本の美』を収録 <K25-30>

II 論文・エッセイ等

1 全集・単行書収録文献

〈戦前〉

- 〈新著紹介〉 ヨハンネス・ヴォルケルト 悲劇美の美学 金田廉訳 「哲学研究」 10巻9号 1925(大14).9 p127~129 (全1)
- 〈新刊紹介〉 パスカルに於ける人間の研究 三木清著 「哲学研究」 11巻8号 1926(大15).8 p89~91 (全1)
- カント第三批判序文前稿について 「哲学研究」 12巻7号 1927(昭2).7 p72~97 (全1)
- 言語 「哲学研究」 12巻9号 1927(昭2).9 p75~83 (全1)
- 言語(続) 「哲学研究」 13巻4号 1928(昭3).4 p433~457 (全1)
- 発言形態と聴取形態並にその芸術的展望 「哲学研究」 14巻2号 1929(昭4).2 p138~153 (全1)(美空)
- 意味の拡張方向並に悲劇性 「哲学研究」 15巻2号 1930(昭5).2 p84~93 (全1)(美空)
- 機械美の構造 「思想」 93号 1930(昭5).2 p59~71 (全3)(近)(美空)(生)
- 文学の構成 「新興芸術」 2年4・5合併号 1930(昭5).4・5合併号 p1~13 (全3)
- 集団美(原稿) 1930(昭5).5.15記 注:後出の「集団美の意義」の草稿にあたるもの。全集第2巻に附載 (全2)
- スポーツの美的要素(上) 「京都帝国大学新聞」 1930(昭5).5.5 (全1)
- スポーツの美的要素(中) 「京都帝国大学新聞」 1930(昭5).5.21 (全1)
- スポーツの美的要素(下) 「京都帝国大学新聞」 1930(昭5).6.5 (全1)
- 絵画の不安 「美」 24巻7号 1930(昭5).7 p121~128 (全2)
- 集団美の意義 「大阪朝日新聞」 1930(昭5).7.6 (全2)
- 〈新刊紹介〉 イデオロギーの論理学 戸坂潤著 「哲学研究」 15巻8号 1930(昭5).8 p108~110 (全1)
- 機能概念の美学への寄与 「美・批評」 1号 1930(昭5).9 p1~7 (全1)(美空)
- 機能概念の美学への寄与 「哲学研究」 15巻11号 1930(昭5).11 p34~79 注:前論文とは別文 (全1)(美集)
- 探偵小説の芸術性—文学のメカニズム— 「美・批評」 3号 1930(昭5).11 p69~74 (全3)(美集)
- 一九三〇年 「京都帝国大学新聞」 1930(昭5).12.21 (全4)
- 春のコンティニューイティー 「美・批評」 6号 1931(昭6).3 p161~168

- (全3) (生)
- 芸術的空間 —演劇の機構について— 「美・批評」 7号 1931(昭6).4
p193~203 (全3) (美空) (生)
- 物理的集团的性格 「美・批評」 8号 1931(昭6).5 p242~251
(全3) (美空) (生)
- <新刊紹介> 手島堵庵全集 柴田寅三郎編 「哲学研究」 16巻6号 1931(昭6).
6 p110~112 (全1)
- <新刊紹介> 統計学原理 宗藤圭三著 「哲学研究」 16巻6号 1931(昭6).6
p110 (全1)
- 芸術の人間学的考察 「理想」 27号 1931(昭6).10 p103~113 (全2) (美集)
- 氣質かたぎ 「美・批評」 15号 1932(昭7).1 p145~154 (全2) (美空)
- <新刊紹介> リヒアルト・ヘーゲルの哲学 岩崎勉・大江精志郎共訳 「哲学研究」
17巻1号 1932(昭7).1 p113~114 (全1)
- 『壇』の解体 「大阪朝日新聞」 1932(昭7).1.19 (美空)
- 文壇の性格 「壇」の解体について(その2) 「大阪朝日新聞」 1932(昭7).1.
20 (美空)
- 斜めに截られた風景 「壇」の解体について(その3) 「大阪朝日新聞」 1932(昭
7).1.21. (美空)
- 芸術の集団性 「壇」の解体について(その4) 「大阪朝日新聞」 1932(昭7).1.
22 (美空)
- <新刊紹介> ヘーゲル哲学と弁証法 田辺元著 「哲学研究」 17巻4号 1932(昭
7).4 p137~139 (全1)
- ノイエ・ザッハリッヒカイトの美学 「美・批評」 17号 1932(昭7).〔4〕
p204~214 注：発行月は推定 (全2) (美空)
- <新刊紹介> 歴史哲学 三木清著 「哲学研究」 17巻5号 1932(昭7).5 p98
(全1)
- 壁 「光画」 3号 1932(昭7).7 p37~40 (全3)
- うつす 「光画」 4号 1932(昭7).8 p69~72 (全3) (ア)
- リズムの構造 「美・批評」 21号 1932(昭7).9 p1~12 (全2)
- 思想的危機における芸術並びにその動向 「理想」 35号 1932(昭7).11
p126~138 (全2) (近) (美集) (生)
- <新刊紹介> 岩波西洋人名辞典 亀井高孝・野上豊一郎・石原純編 「哲学研究」
18巻4号 1933(昭8).4 p118~119 (全1)
- スポーツ気分の構造 「思想」 132号 1933(昭8).5 p94~104
(全1) (近) (美集)
- 蓄音器の針 「京都日出新聞」 1933(昭8).6.4夕刊 (全4) (ア)
- 『盤嶽の一生』 「京都日出新聞」 1933(昭8).6.23 注：映画評 (ア)

- こつ・気合・呼吸 黒田亮氏著の『勸の研究』を読む 〈ブック・レビュー〉 「大阪朝日新聞」 1933(昭8).11.6 (全2)
- 模写論の美学的関連 一つの草稿 「美・批評」 28号 1934(昭9).5 p1~14 (全1) (美集)
- 現代における美の諸性格 「理想」 49号 1934(昭9).7・8合併号 p5~24 (全2) (近) (美空)
- リアリズム論の基礎問題 二、三 「美・批評」 31号 1934(昭9).9 p127~144 (全2) (美空)
- 注：『美学的空間』では「リアリズムとロマン主義」と改題 (全2) (美空)
- Subjektの問題 「思想」 160号 1935(昭10).9 p35~55 (全1) (美集)
- 現代青年の思想について (講演原稿) 1935(昭10) 注：執筆年は文中より推定 (全4)
- 委員会の論理 —一つの草稿として— (上) 「世界文化」 13号 1936(昭11).1 p2~17 (全1) (美集)
- 委員会の論理 —一つの草稿として— (中) 「世界文化」 14号 1936(昭11).2 p16~33 (全1) (美集)
- 委員会の論理 —一つの草稿として— (下) 「世界文化」 15号 1936(昭11).3 p12~25 (全1) (美集)
- 講座 芸術学〔1〕 「児童芸術研究」 7号 1936(昭11).2 p41~45 (美空)
- 講座 芸術学〔2〕 「児童芸術研究」 8号 1936(昭11).6 p32~36 (美空)
- 講座 芸術学〔3〕 「児童芸術研究」 9号 1936(昭11).9 p41~43 (美空)
- 講座 芸術学〔4〕 「児童芸術研究」 10号 1937(昭12).1 p32~34 (美空)
- 講座 芸術学〔5〕 「児童芸術研究」 11号 1937(昭12).3 p31~33 (美空)
- 講座 芸術学〔6〕 「児童芸術研究」 12号 1937(昭12).6 p36~39 (美空)
- 講座 芸術学〔7〕 「児童芸術研究」 13号 1937(昭12).10 p48~53 (美空)
- 〈映画時評〉 「崩え出づる力」 四つの学生映画「大学よいところ」「朧夜の女」「人生劇場」「啄木」 「世界文化」 18号 1936(昭11).6 p73~74 (全3)
- コンティニューイターの論理性 「学生評論」 1巻2号 1936(昭11).6 p55~60 (全3) (生)
- 「土曜日」巻頭言 (全4) (美集) (ア)
- 花は鉄道の盛り土の上にも咲く 1936(昭11).7.4
- 生きて今此処に居ることを手離すまい 1936(昭11).7.17
- 星を越えて、人間の秩序は、その深さを加へる 1936(昭11).8.1
- 虚しいと云ふ感じだけに立ち止るまい 1936(昭11).8.15
- どんな小さな土の一塊でもよい、掌に取って砕こう 1936(昭11).9.5
- ポーズに気づいた瞬間に行動は空虚になる 1936(昭11).9.19
- 集団は新たな言葉の姿を求めてゐる 1936(昭11).10.20
- 人間の最後の勝利への信頼が必要である 1936(昭11).11.5
- 秩序が万人のものとなる闘い・それが人間である 1936(昭11).11.20

真理は見ることよりも、支ることを求めている 1936(昭11).12.5

正月の気分は遠い追憶に似ている 1937(昭12).1.5

野にすみれが自由に咲く時である 1937(昭12).3.5

手を挙げよう、どんな小さな手でもいゝ 1937(昭12).3.20

人間は人間を馬鹿にはならない 1937(昭12).4.5

誤りをふみしめて「土曜日」は一年を歩んで来た 1937(昭12).7.5

平凡な人間の声、人民の声の中に真実はある 1937(昭12).7.20

なぜやいな気持ちちが人間を空虚にする 1937(昭12).9.20

爽やかな合理的のころをもちつづけて 1937(昭12).10.5

注：『美と集団の論理』では、28篇が中井の著として収録されているが、『全集第4巻』『アフォリズム』では、そのうち10篇が中井以外の著として除かれ、以上の18篇が収録されている。

<映画> 薔薇はなぜ紅い 「世界文化」 20号 1936(昭11).8 p52~53 (全3)

さまよえるユダヤ人 「カスタンニエン」 18号 1936(昭11).10 p15~24 (全1)

<映画> 「幸運の天才」 「世界文化」 24号 1936(昭11).12 p60~61 (全3)

合理主義の問題 「学生評論」 1巻8号 1937(昭12).3・4合併号 p2~16 (全1)

「見ること」の意味 「国民美術」 巻号未詳 1937(昭12).4 掲載頁未詳 (全3)

<新刊批評> 日本資本主義論争 内田穰吉著 「世界文化」 29号 1937(昭12).5 p44~46 注：筆名、緒方禎三 (全1)

レムブラントの生きた道 —映画“描かれた人生”を見て 「大阪毎日新聞」 1937(昭12).5.5 (全2)

集団的芸術 「プレスアルト」 9号 1937(昭12).9 掲載頁未詳 (全2)(ア)

我等が信念 「昭徳」 7巻4号 1942(昭17).4 p59~68 (全4)

橋頭堡 「京都新聞」 (全4)

1944(昭19) 9.8 9.9 9.10 9.12 9.16 9.20 9.23 9.27 10.1

10.4 10.7 10.11 10.14 10.20 10.22 10.27 11.2 11.9

11.16 11.30 12.14 12.21 12.28

1945(昭20) 1.4 1.10 1.18 1.25 2.2 2.15

注：いずれも無署名であるが中井著と推定。他に1944.11.23、1945.2.8のものがあるが、全集・単行書に未収録(2に後出)

感嘆詞のある思想 「学海」 2巻3号 1945(昭20).3 p46~51 (全1)

<戦後>

映画の空間 —映画の主体性の問題に関連して— 「映画芸術」 1巻1号 1946(昭21).7 p2~6 注：後『美学入門』の第1部の7として再録

(全3)(近)(美空)(生)

映画の時間 —映画の主体性の問題に関連して— 「映画芸術」 1巻3号 1946(昭21).9 p8~10 注：後『美学入門』の第2部の6として再録

- (全3) (近) (美空) (生)
- 絵画における行動の意味 「パレット」 1号 1946(昭21).10 掲載頁未詳 (全3)
- 三木・戸坂君を憶う 「夕刊京都」 1946(昭21).10.6 (全4)
- 映画美と世界観 「映画芸術」 1巻5号 1946(昭21).12 p8~14 注:後改稿して「近代美と世界観」と改題 (全2)
- ヒューマンイズムの憂愁 —わが道をゆく— 「映画芸術」 1巻5号 1946(昭21).12 p30~31 注:映画「我が道を行く」の批評 (全2)
- 地方文化運動報告 —尾道市図書館より— 青年文化 2巻1号 1947(昭22).1 p82~86 (全4) (論)
- 芸術における媒介の問題 「思想」 275号 1947(昭22).2 p20~40 (全2) (美空)
- 気(け、き)の日本語としての変遷 「帝国学士院紀事」 5巻1号 1947(昭22).3 p18~36 (美空)
- 近代美と世界観 『近代美の研究』 三一書房 1947(昭22).6 p75~97 注:前出の「映画美と世界観」を改稿・改題したもの (全2) (近) (美空) (生)
- 地方の青年についての報告 「青年文化」 2巻8号 1947(昭22).11 p12~14 (全4) (論)
- 農閑期の文化運動 「光」 4巻1号 1948(昭23).1 p28~29 (全4)
- 三木君と個性 『回想の三木清』 三一書房 1948(昭23).1 p117~122 (全1)
- 地方文化の問題 「季刊大学」 5号 1948(昭23).3 p115~117 (全4) (論)
- 歴史変革の任務 国立国会図書館について(上) 「東京新聞」 1948(昭23).7.24 (全4) (論)
- 民主化への寄与 国立国会図書館について(下) 「東京新聞」 1948(昭23).7.25 (全4) (論)
- 国会図書館について 「書評」 3巻9号 1948(昭23).9 p15~18 (論)
- 実践について —馬になった話— 「青年文化」 3巻8号 1948(昭23).9 p2~5 (全4) (論)
- 真理は我等を自由にする (謄写印刷物) 1948(昭23).10.13講 10p 注:国立国会図書館の職員研修における特別講義速記録 (論)
- 戸坂君の追憶 『回想の戸坂潤』 三一書房 1948(昭23).10 p123~127 (全1)
- 生まれ変わった赤坂離宮 「世界画報」 3巻10号 1948(昭23).11 グラビア2p(頁付なし) (論)
- 国立国会図書館の任務 「評論」 27号 1948(昭23).11 p37~39 (全4) (論)
- 『焚書時代』の出現 国会図書館について 「社会新聞」 1948(昭23).11.10 (全4) (論)
- 知識と政治の遊離 「改造」 29巻12号 1948(昭23).12 p26~29 (全4) (論)
- カントにおける中間者としての構想力の記録 「哲学評論」 4巻3号 1949(昭24).3 p6~12 (全1) (美空)

- 図書館に生きる道 「図書館雑誌」 43巻5・6合併号 1949(昭24).5・6合併号
p61 (全4)(論)(ア)
- 機構への挑戦 「場所から」「働きへ」 「東京大学学生新聞」 1949(昭24).6.28・
7.8合併号 (全4)(論)(ア)
- 行動美術展をみる 「美術手帖」 22号 1949(昭24).10 p73~74 (全3)
- <出版常識講座1> 民族の血管 出版機構は常に新しく 「出版ニュース」
114号 1950(昭25).1上旬号 p6 (全4)(論)
- 野に山にかかる虹の橋 「図書館雑誌」 44巻1号 1950(昭25).1 p2 (論)
- 移りゆく図書概念 「図書」 4号 1950(昭25).2 p2~3 (全4)(論)
- 二十世紀の頂に於ける図書館の意味 「読書」 7号 1950(昭25).2 p4~5
(全4)(論)
- 国会図書館の窓から 「Books」 1号 1950(昭25).3 p2~3 (全4)(論)
- 情ない本の切取 みんなのことを考えよ <相談と抗議> 「東京日日新聞」
1950(昭25).3.11 (論)
- 国立国会図書館 「婦人公論」 36巻4号 1950(昭25).4 p88~90 (論)
- 聴衆0の講演会 「朝日評論」 5巻4号 1950(昭25).4 p129~132
(全4)(論)
- 図書館法ついに通過せり 「図書館雑誌」 44巻4号 1950(昭25).4 p2
(全4)(論)
- 現代美学の危機と映画理論 「映画文化」 1号 1950(昭25).5 p6~10
(全3)(美空)(生)
- 組織としての図書館へ —マックリーシュの業績— 「びぶろす」 1巻2号
1950(昭25).5 p3~6 (全4)(論)
- 図書館法を地方の万人の手に 「出版ニュース」 125号 1950(昭25).5上旬号
p1 (全4)
- 「焚書時代」を脱却 図書館法成立に当って 「全国出版新聞」 1950(昭25).5.15
(全4)
- 大会を終りて 「図書館雑誌」 44巻6号 1950(昭25).6 p2 (全4)(論)
- 図書館法の成立 —燃えひろがる火は点ぜられた— 「社会教育」 5巻6号
1950(昭25).6 p52~53 (全4)(論)
- カットの文法 「シナリオ」 6巻5号 1950(昭25).7 p10~11 (全3)(生)
- 図書館 『社会教育』 光文社 1950(昭25).7 p83~101 (全4)(論)
- 図書館協会総会に於ける中井理事長の挨拶 「図書館雑誌」 44巻7号 1950(昭25).
7 p3 (論)
- 図書館法楽屋話 「法律のひろば」 3巻7号 1950(昭25).7 p20~21
(全4)(論)
- 機械時代と理論並に芸術の適応 「思想」 314号 1950(昭25).8 p13~22
(美空)(生)

- 世界を巡るカード 新しい図書館の役目 「毎日新聞」 1950(昭25).8.25 (論)
- 映画と季感 「シナリオ」 6巻6号 1950(昭25).9 p6~8 (全3)(生)
- 映画のもつ文法 「読書春秋」 1巻6号 1950(昭25).9 p8~9 (全3)(生)
- 組織への再編成 —資治通鑑の諫官の祈り— 「学園新聞」(京大) 1950(昭25).9.25 (全4)(論)
- 『良書普及運動』に寄せて 「図書館雑誌」44巻9・10合併号 1950(昭25).9・10合併号 p3 (全4)(論)
- アメリカ教育使節団の報告書を読み 「図書館雑誌」 44巻11・12合併号 1950(昭25).11・12合併号 p3~4 (全4)(論)
- 国会図書館のこのごろ 「朝日評論」 5巻11号 1950(昭25).11 p144~145 (全4)(論)
- レンズとフィルム —それも一つの性格である— 「シナリオ」 7巻1号 1950(昭25).11 p11~15 注:「物理的集团的性格」の改稿 (全3)(生)
- 〈われわれの言葉の問題 第5回〉 言語は生きている 「中央公論」 65巻12号 1950(昭25).12 p126~130 (美空)
- 一握の大理石の砂 「パレット」 展覧会号 1950(昭25) 発行月・掲載頁未詳 (全3)
- 生きている空間 —映画空間論への序曲— 「シナリオ」 7巻2号 1951(昭26).1 p6~9 (全3)(美空)(生)
- 回顧十年 —思ひ出づるまゝに— 「哲学研究」 35巻2号 1951(昭26).2 p108~112 (全1)
- 巨像を彫るもの 「土」 15号 1951(昭26).4 p2~3 (全4)(論)
- 色彩映画のシナリオ 「シナリオ」 7巻3号 1951(昭26).4 p54~56 (全3)(生)
- 歴史の流れの中の図書館 —個人的なものから集团的なるものへ— 「読書春秋」 2巻5号 1951(昭26).5 p10~13 (全4)(論)
- 過剰の意識 「シナリオ」 7巻4号 1951(昭26).7 p54~55 (全3)(ア)
- 集団文化と読書 「読書人」 5号 1951(昭26).8 p7 (全4)(論)
- 脱出と回帰 「思想」 326号 1951(昭26).8 p9~13 (全2)(美空)
- 二十世紀の図書館 「女性改造」 6巻8号 1951(昭26).8 p121~122 (論)
- 色彩映画の思い出 「映画の友」 19巻9号 1951(昭26).9 p55~56 (全3)(生)
- 出版界に大龍巻を 〈読書界〉 「ファイナンス・ダイジェスト」 5巻14号 1951(昭26).9 p85 (全4)
- 大衆の知恵 「シナリオ」 7巻5号 1951(昭26).9 p10~11 (全3)
- 日本の現代劇とは 「悲劇喜劇」 5巻9号 1951(昭26).9 p30~32 (全3)
- 読書週間よせて 「学校図書館」 12号 1951(昭26).10 p8~9 (全4)
- 図書館協会六十周年に寄せて 大衆に奉仕する一大組織体へ 「出版ニュース」

- 176号 1951(昭26).10上旬号 p 1~2 (全4)
- 図書館の未来像 『図書館年鑑 1952』 図書館資料社 1951(昭26).10 p 2~3 (全4)(論)
- 図書館法と出版界 「図書」 25号 1951(昭26).10 p 7~9 (全4)(論)
- 農村の思想 『国民講座・I 日本の思想』 河出書房 1951(昭26).10 p119~133 (全4)
- 文化のたたかい —芸術と社会教育— 「社会教育」 6巻10号 1951(昭26).10 p 6~10 (全4)
- 支部図書館3周年によせて 「びぶろす」 2巻11号 1951(昭26).11 p 2 (全4)(論)
- <時評> 公民館と書ダナ 「朝日新聞」 1951(昭26).12.24 注：2に後出の<時評>と一連のもの (全4)(論)
- 創立60周年に寄せて 「図書館雑誌」 45巻11・12合併号 1951(昭26).12 p 3 (論)
- 新しい神話を追い求めつ、 「読書春秋」 3巻2号 1952(昭27).2 p 1 (ア)
- 雪 「美しい暮しの手帖」 15号 1952(昭27).3 p117~118 (全4)
- 調査機関 「思想」 334号 1952(昭27)..4 p105~112 (全4)(論)
- <歿後>
- 図書館 『教育研究事典』 金子書房 1954(昭29).5 p1296~1306 (論)
- 霧の中のヨードル 「灯影」 10号 1962(昭37).12 p 1~2 注：『アフォーリズム』の巻末解説中に収録 (ア)
- 転換期の美学的課題—ひとつの遺稿— 「思想の科学」 21号 1963(昭38).12 p107~119 注：相愛女子専門学校講義聴講者ノート。「転換期の美学」と改題して全集第2巻に収録 (全2)
- <発行・執筆年未詳>
- 真理を求めて —平和祭に寄す— 「中国新聞」 発行年月日未詳 (全4)
- スポーツ美の構造 (原稿) 執筆年月未詳 (全1)
- 美学概論 (講義聴講者ノート) 講義年月未詳 注：講義は尾道女子短期大学と推定されている (全2)

2 全集・単行書未収録文献

<戦前>

- 絵画に於ける筆触系列の意味 (原稿) 1924(大13).9.29記 注：京都帝国大学在学中の論文
- カント判断力批判の研究 (原稿) 1925(大14).6 注：京都帝国大学卒業論文
- 憂うつ (原稿) 1925(大14).7 注：文中に上記年月記載のあとあり
- 故深田博士略歴並業績 「哲学研究」 14巻2号 1929(昭4).2 p175~181

<新刊紹介> 現代美学思潮 渡辺吉治著 「哲学研究」 15巻12号 1930(昭5).12
p94

カントに於ける Kritik と Doktrin の記録について 「哲学研究」 16巻6号
1931(昭6).6 p1~22

日本的なもの・その一 「美・批評」 12号 1931(昭6).10 p33~66

『もの』 「京都帝国大学新聞」 1932(昭7).5.21

オスカー・ベッカー 『美の果無さと芸術学の冒険性』 「美・批評」 18号
1932(昭7).〔7〕 p293~296 注：発行月は推定

<文献目録> 美学古書目録 (1700~1850) 「美・批評」 27号 1933(昭8).5
p193~205

リアリズムの問題に寄せて 「コギト」 3巻7号 1934(昭9).7 p4~11

須田国太郎氏個展印象 「みづゑ」 359号 1935(昭10).1 p90,95

壁画の表情 京都朝日会館の壁画を撫でる 「京都帝国大学新聞」 1935(昭10).5.
6

松岡・田中・長島三氏訳 カント『神の存在の証明根拠其他』 「京都帝国大学新聞」
1935(昭10).11.16

新しい美と世界観 「宗教と芸術」 16巻3号 1936(昭11).6 p2~11 注：後「映
画美と世界観」さらに「近代美と世界観」と改題、改稿

<新刊批評> 日本国際年鑑(1936年) 「世界文化」 20号 1936(昭11).8
p55~56

日本評論社の『現代哲学辞典』 「京都帝国大学新聞」 1936(昭11).10.5

<新刊批評> 豊啞年鑑(1935年) 「世界文化」 22号 1936(昭11).10 p53

<新刊批評> 古美術の再批判 「世界文化」 23号 1936(昭11).11 p52~54 注：
筆名、緒方禎三

日本映画「髻物」の特殊性 「京都帝国大学新聞」 1937(昭12).4.20

<映画> 「我等の仲間」の毒物性 「世界文化」 30号 1937(昭12).6 p44~46
橋頭堡 「京都新聞」

1944(昭19).11.23

1945(昭20).2.8

注：無署名であるが中井著と推定。1に前出のものの一連のもの
気球弾 「京都新聞」

1945(昭20) 2.22 3.2 3.8 3.16 3.23

注：無署名であるが中井著と推定

<戦 後>

危機ハムシロ今後ニ 「清流」 1号 [1946(昭21).8] p5

人間性の問題 「時論」 第1巻8・9合併号 1946(昭21).8・9合併号
p80~86

新なること 「山陽新聞」 1947(昭22).1.1

- 〈出馬の弁〉 政治を日なたへ 「中国新聞」 1947(昭22).3.27
 (広島県知事公選立候補の挨拶) (謄写印刷物) 1947(昭22).3 頁数未詳
 気鋒の問題 掲載誌未詳 1947(昭22).12 掲載頁未詳 注:中井家現存リストによる
- 現代日本画の一つの課題 「三彩」 15号 1948(昭23).1 p.9~12
 意識の過剰 「日本評論」 23巻8号 1948(昭23).8 p34~38
 言葉は生きている 「日読ニュース」 21号 1948(昭23).9.15 p.1
 あとがき 『芸術について』 深田康算著 岩波書店 1948(昭23).12 p1~3 注:
 掲載頁は「あとがき」の頁付
 わが母の記 「婦人」 3巻5号 1949(昭24).5 p.40~45 注:目次の標題は「思
 い出の母」
 はじめにロゴスありき 「読書相談」 2号 1949(昭24).7 (p.1)
 学校図書館を守れ —読書週間に寄せて— 「読書相談」 6号 1949(昭24).11
 (p.1)
- 〈対照書評〉 ぼくらの世界美術史・谷信一著 人間のつくる美・恩知孝四郎著 「児
 童図書室」 2巻6号 1949(昭24).11 p19~20
 良書を推す 「手の進歩」 「東京新聞」 1949(昭24).11.1
 毎日常鑑 「毎日新聞」 1949(昭24).11.3
 『読書世論調査』 「毎日新聞」 1949(昭24).12.11
 歴史にひそむ人類の力 —昭和二五年に寄せて— 「徳島文化」 2号 1949(昭24).
 12 p.2
 国会図書館新着洋書 「人間」 5巻3号 1950(昭25).3 p65~67
 最近の本から 「ニュー・エイヂ」 2巻3号 1950(昭25).3 p74~75
 論理と現実 「徳島文化」 2巻〔4・5合併〕号 1950(昭25).4・5合併号
 p.1~2
 映画評論に何をのぞむか (ハガキ回答) 「映画文化」 1号 1950(昭25).5
 p37
 スポーツ周辺譚 「文芸春秋」 28巻6号 1950(昭25).5 p25~26
 図書館法と学校図書館 「読書相談」 (2巻3号) 1950(昭25).5 p.1
 一つの大きな主張の試み 「図書新聞」 1950(昭25).7.19
 百聞は一見にしかず —岩波写真文庫— 「図書」 9号 1950(昭25).7
 p24~25
 書評の焦点 「女性改造」 5巻10号 1950(昭25).10 p67~68
 学校図書館の使命 『学校図書館運営の実際と読書指導』 西荻書店 1950(昭25).11
 p.1~12
 教育使節団勧告を読んで 「読書相談」 2巻10号 1950(昭25).12 p.6
 少年に文化を嗣ぐところを 「図書」 14号(臨時増刊) 1950(昭25).12 p.7~8
 はしがき 『日本十進分類表 新訂6版』 日本図書館協会 1950(昭25).12.1 p(頁

付なし)

世界のいぶきをつたへるもの 「学燈」 48巻1号 1951(昭26).1 p 7~8

図書館に人間性を 「読書山梨」 3巻1号 1951(昭26).3 p 5

批評ということ 「読書春秋」 2巻3号 1951(昭26).3 p 6~7

序 『実務必携 図書館用語辞典』 同学社 1951(昭26).4 p 1~2

挨拶 『昭和二十五年度東海北陸地区図書館研究集会報告書』 愛知図書館協会
1951(昭26).5 p5

季 「風花」 21号 1951(昭26).5 p 4~6

序文 『推せん・選定図書総目録 1950年度』 日本図書館協会 1951(昭26).5
p 2~3

<書評> ライブラリーよりインフォメーション・センターへ — 『図書・図書館事
典』 — 「教育図書ニュース」 18号 1951(昭26).6 p19

原子力の研究書 「東京新聞」 1951(昭26).7.5

機械と読書 <読書界> 「ファイナンスダイジェスト」 5巻12号 1951(昭26).8
p111

<わが著書を語る> 美学入門 「出版ニュース」 172号 1951(昭26):8下月号 p 8
美しい心のみが美の歴史を 「西洋美術」をすいせんする 『西洋美術』推せん文
1951(昭26).9 頁未詳

子供を自然に解き放て 掲載誌未詳 1951(昭26).9 掲載頁未詳 注:従来の著作
目録類には掲載誌「教育評論」とあるが該当誌不明

光を描く人々 「読書相談」 3巻8号 1951(昭26).9 p 2~3

名人芸とチームワーク 「Books」 18号 1951(昭26).9 p14~15

豆鉄砲 「夕刊朝日新聞」

ピカソのひょう変 1951(昭26).9.25

金の卵 1951(昭26).9.26

二つのサイクル 1951(昭26).9.27

矛盾的性格 1951(昭26).9.28

今放たれた自分 1951(昭26).9.29

真空の文化 1951(昭26).9.30

講演四カ条 1951(昭26).10.1

図書館年鑑の刊行に際して 『図書館年鑑 1952』 図書館資料社 1951(昭26).10
p vi

時評 「朝日新聞」

読書の民族的地図 1951(昭26).10.17

読書の処女地 1951(昭26).11.10

抜駆けと散開 1951(昭26).11.30

見えざる支柱 1952(昭27).1.18

生ける遺骨に 1952(昭27).4.14

「言葉の論理」と「事実の論理」 「法律のひろば」 5巻1号 1952(昭27).1
p 8～9

<書評> アリストパネース著『女の平和』 「中央公論」 67巻1号 1952(昭27).1
p201

二つの誕生 「真人」 2巻1号 1952(昭27).1 p 5～6

ご自慢ノート 「毎日新聞」 1952(昭27).2.7

新らたな美の発見のために 『毎日ライブラリー 日本の美術』付録「毎日ライブラリー」
毎日新聞社 1952(昭27).3 p 2～3

市民の一人としての警察官 「警察文化」 巻号未詳 1952(昭27).4 掲載頁未詳

桃源境 「キング」 28巻4号 1952(昭27).4 p52～53

<歿後>

図書館の話 『改訂新しい国語 中学一年 上』 東京書籍 1952(昭27).6

p136～145 注：掲載書は昭和28～36年度使用教科書。その後も一部省略して『新編
新しい国語 中学一年 上』(昭32～34年度、昭35～36年度使用)、『新しい国語 中
学一年』(昭37～40年度使用)、『新編新しい国語 中学一年』(昭41～43年度使用)(い
ずれも東京書籍発行)に掲載される。なお最後の標題は「図書館の書物」

軽み 「真人」 2巻6号 1952(昭27).7 p 9

気 「真人」 2巻10号 1952(昭27).10 p 7

<発行・執筆年未詳>

図式空間の芸術学 (原稿)

自由の野のすみれ —ロマン・ローラン「戦いをこえて」について— 掲載誌等未詳

読むという言葉 「月刊学校図書館」 13号 発行年月等未詳

若い世代の恋愛と倫理 「ひろば」 2号 発行年月未詳 p50～62

<短歌・俳句>

土用波「大磯十首」「双樹」 第1集 [1949(昭24)] p47

流転(十首) 「双樹」 第2集 [1950(昭25)] p34～35

谿水(七首) 「双樹」 第3集 [1951(昭26)] p50

俳句(二十句) 『桐影同人句集』 桐影吟社 1952(昭27) p17、18、21、22、24、
26、27、29、30、40、42

<座談会>

東洋と西洋 「潮流」 2巻10号 1947(昭22).12 p50～66 注：他の出席者=新村
猛 久野収 青山秀夫 重沢俊郎 重松俊明

意識革命と文化運動 —地方の現状を基盤として— 「光」 4巻2号 1948(昭23).

2 p 4～13 注：他の出席者=中村哲 木部達二 横井洋一 高橋実 桜井恒次

出版界の基本問題 「日本読書新聞」 1948(昭23).8 .11 注：他の出席者=石井満
河盛好蔵 畑中繁雄 羽仁説子

教養の問題を中心にして 「教育復興」 1巻4号 1948(昭23).12 p10～25 注：

他の出席者=奥崎直幸 武田一郎 新居格 真下信一 松原元一

平和のための教育 「世界」 43号 1949(昭24).7 p24~48 注：他の出席者=清水幾太郎 今井誉次郎 上飯坂好美 宮原誠一 猪野謙二 新村猛 吉野源三郎

図書館法ができあがるまで 「図書館雑誌」 44巻6号 1950(昭25).6 p5~8
注：他の出席者=有山崧 雨宮祐政 衛藤利夫 井内慶次郎 廿日出逸暁 加藤宗厚 川崎繁 中田邦造

子供と読書 —母親の質問を中心に— 「婦人の友」 44巻12号 1950(昭25).12
p39~46 注：他の出席者=矢島祐利 羽仁説子

読書シーズンを前に 出版界座談会(上、中、下) 「産業経済新聞」 1951(昭26).
8.10~12 注：他の出席者=羽田武嗣郎、西谷能雄 布川角左衛門 内田篤次
江草四郎 寺村五郎

宗教と芸術 「悠久」 4巻2号 1952(昭27).7 p12~30 注：他の出席者=田辺秀雄 原田三千夫 森田康之助 白田甚五郎 座田司氏 岡田米夫 小野祖教

(しんむら・とおる 故人・元桜美林大学教授)

(ひらかわ・ちひろ 参考課)

